

## はじめに

平成二十一年度の少年の主張富岡市大会が、七月七日に富岡市立東中学校で開催されました。市長、市議会議長をはじめご来賓のご臨席をいただいたほか、東中学校の全生徒の出席と保護者の方々やこの大会に関心をお持ちの市民の皆さんのご来場をいただき、満員の会場の熱気の中で熱のこもった発表が行われました。

各中学校を代表する十二名の発表者は、それぞれ自分の主張したいテーマを選び主張を分かりやすく整理し推敲を重ね、しっかりと内容の発表をしました。今大会の特徴は、挨拶、老い、貧困、人権、戦争そして平和とテーマは違っても、人と人の問題から、国と国の問題まで、広く人間社会の関係を考える発表が過半数を占めたことだと思えます。若い人たちが身の回りの日常のやりとりから会話の大切さに気づくとともに世界の平和にまで考えが及んだことは、聴く方達に改めて考えるべき大きな問題を提示してくれたものと感じました。審査の結果、最優秀賞三名が選ばれ、他の九名が優秀賞になりましたが、その差はわずかであったと思います。

人間の社会は、各自が言葉や文字で自分の意志を表現し、相手がその意志を受け止めることから始まります。現代の若者は、コミュニケーションが下手だと言われていますが、今回の発表を見ると、そんなことはなく、強いて言えば、携帯電話等が普及して直接対話の機会が減ってしまったということではないでしょうか。発表者は、自分の考えていることをしっかりと表現し、聞き手は、皆真剣に聞いていました。今後の課題としては、直接相手と話す機会を増やすことだと思います。どんな時代がきても、どんなに文明が発達しても、大事なことほど対面して話し合うという人間社会の基本は変わらないと思います。

これからも、生徒の皆さん一人一人が普段から身近な問題を意識してこのような訓練を積んでおくことが大切だと思います。このことは将来必ず自分自身を助けることになることでしょう。

結びに、今大会を支えてくださいました東中学校をはじめとする関係者の皆様方に心から御礼申し上げます。